

## 【面接官の印象】

### 1. 外国人面接官の印象

とてもにこやかで、少しお年の小柄な女性。  
入室の際から優しく笑って下さった。

### 2. 通訳ガイド

落ち着いた感じの女性で、おそらく 50 代位の方。  
口調も優しく、こちらにもこやかな方でした。  
通訳の際、書き取りやすいようにゆっくり読んで下さいました。

### 3. 通訳試験について

#### 《出題された日本文》

日本人はそばを食べる時、お茶を飲む時、汁物を飲む時、わざと音をたてます。これは（もてなしてくれた？）主人においしかったという感謝の気持ちを表すためのもので、むしろ良いマナーとされています。（すいません、うろ覚えです。大体こんな感じでした。）

#### 《自分の解答》

充分に書き取れるスピードで読んでいただきましたが、完ぺきは無理と考え、なるべくメモを見ずにお二人を見て笑顔で話すようにしました。

In Japan, when we eat noodles, drink tea and eat soup, we make sounds. By making sounds, we show appreciation to the host. Japanese people believe this is a good manner

（こんな感じの事を言ったと思います。文法などもあいまいで半分訳せたかな？という印象です。）

### 4. 2分間プレゼンテーションについて

#### 《出題されたトピック》

- ① 東海道五十三次について
- ② 草津温泉（の特徴？）について
- ③ 福袋とは

#### 《選択したトピック》

『福袋とは』 正直これしか選べませんでした。

#### 《発表した内容》

3つのトピックを一目見て思わず笑ってしまいました。どのトピックも初めて見る物だったからです。直前まで復習していた時代や文化が全く使えないと分かり、むしろ開き直りました。初めてのトピックならできなくても仕方ないと考え、とにかくアイコンタクトとスマイ

ル全開で話すことに集中しました。

福袋の英訳すら分からなかったので、自分の中で happy bag と決めて話し始めました。

Happy bags are sold at the department stores or supermarkets during new years holidays. If the cost of bags are 10,000 yen, there are more expensive things in the bags. People wait the opening time in front of department stores (in line?) When the stores open, people rush to their favorite shops and get the happy bags. There are so expensive happy bags some of them, gorgeous jewelry is in the bags. I heard one million yen happy bags were sold. The diamond were in these bags.

## 5. 質疑応答について

NS	どのような年代の方が福袋を買うのですか？（英文は忘れました。）
I	20代～40代の女性。From 20s to 40s women. They buy them for their children and husbands. Of course for themselves.
NS	自分の好きなお店とかコーナーはどうやって探すの？（これは、実ほうまく聞き取れず、おそらくこう聞かれたと想像して答えました。）
I	Nowadays we can check happy bags in (onかも?) internet, so we can choose our favorite fags easily.
NS	ここで、以上で OK との言葉をいただきましたが、Thank you と伝え立ち上がった際に、NS から「買った事あるの？」と聞かれ、Yes, once.と答えました。すると「いい物が入っていた？」と聞かれたので、Half of them were my favorite, but another half were not. というような事を答えました。

## 6. 試験を終えての感想

自分の番までかなり時間があったので、これはチャンス到来と持参したテキストなどを読み込んでいましたが、実際は全く役に立たず、笑ってしまいました。でも通訳ガイドのしごと自体、どんなに用意して臨んでも、意外な事を聞かれるようなそういう仕事なんだな！と悟りました。そういう意味では実践してみたという疑似体験のようにも思いました。

かなり緊張しましたが、面接官がお二人共にこやかで優しい方々だったので、そこでかなりリラックスしました。話した英語はめちゃくちゃだったと思いますが、とにかく笑顔とアイコンタクトを心がけたので、終始なごやかな雰囲気でした。楽しかったという感想です。